

令和3年2月16日発行
京都府丹後保健所 保健課
(丹後地域包括ケア推進ネット)

1 新規養成研修について

去る令和2年11月26日に今年度の新規隊員養成研修会がオンラインで開催され、管内からは各事業所や自宅から新規養成者10名を含む29名の方が受講されました。

京都府高齢者支援課の中村課長補佐からは『2025年には全国小学生の数より多い730万人の人が認知症を発症すると推計されている。そんな中、2025年までに地域の生活圏域内であらゆるサービスが受けられるよう地域包括ケアの充実を図っているところ。認知症については、より早期に発見、診断、治療に繋がられるような生活支援が重要と考えられてきている。

また、早期に診断された場合は、支援のない空白期間が生じることが多く、リンクワーカーがその隙間支援を担うよう京都府独自に支援制度を構築してきた。

さらに、医療だけでなく、認知症カフェなどの必要なサービスに繋げるような仕組みづくりをしている。

見守りの目を増やす取り組みでは、地域や企業を巻き込んで広域訓練を行ったり、異業種が連携することでより地域で生活しやすい仕組みづくりも実証されてきている。オレンジロードつなげ隊もその一環であり、自分達ができることをできるだけ多くの人に普及啓発していく企画・実働部隊である。』と報告がありました。

また、実践報告としては、「認知症の人の地域共生支援プロジェクトについて」スマートフォンアプリを活用し、地域でのネットワークづくり、行方不明時の検索依頼やイベント開催など、多世代への活用を目指したアプリ開発の紹介もされました。



みまもりあい プロジェクト

「みまもりあいプロジェクト」とは・・・

- 平成28年度厚生労働省「介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業」受託
- 互助×ICTを駆使し、一人でも二人でも認知症について知って頂き、正しく理解してもらえるよう活動をして下さっているオレンジロードつなげ隊さんに、この場を借りて改めて感謝します。大きなイベントじゃないと啓発できない訳ではなく、身近な人から正しく理解していただけるよう今後ともご協力をお願いします。
- 個人情報保護した状態で直接対話できるシステム・ステッカーを開発
- 行方不明者の検索支援アプリを開発（見守り訓練機能も備えており、子どもを対象に地域のイベントで人探し体験を実施すれば、多世代交流しつつ、啓発も可能）
- 認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証事業
- 検索支援アプリを地域共生支援アプリに発展し、無料かつ地域限定、個人情報不要で利用できる情報連携プラットフォームを開発中（ID・パスワードの記憶が不要のため、認知症の人でも安心して利用しやすい）

ホームページ：<https://mimamoriai.net/>

近年、人が集まることが出来ない中、やり方を工夫し、出来ることから少しずつ取り組んでいくことの大切さなどを改めて考えさせられました。

コロナ禍で地域のイベントが縮小される中、一人でも二人でも認知症について知って頂き、正しく理解してもらえるよう活動をして下さっているオレンジロードつなげ隊さんに、この場を借りて改めて感謝します。大きなイベントじゃないと啓発できない訳ではなく、身近な人から正しく理解していただけるよう今後ともご協力をお願いします。

〈新規隊員の方々〉

グループ
デ
イひだまり
の家 1名

第一生命
峰山オフィ
ス 5名

京丹後市
社協 1
名

京都北都信用金
庫 峰山中央支
店 1名

虹ヶ丘デイサ
ービスセンタ
ー 1名

元自治体
保健師
1名

2 啓発物品について

府民の方への啓発活動の際に、活用していただいている啓発物品です。新規隊員も加わりましたので、改めて紹介します。

啓発活動では、リーフレットで説明される際にグッズを付けて御活用いただくと効果的です。企画書を提出いただく際に必要個数を御記入ください。なお、企画書及び報告書の様式は丹後保健所ホームページに載せています。

＜リーフレット等＞

	「心でつなく、地域でつむむ“認知症”」 A5 版冊子 9 ページ (京都府作成)		「知ってください！若年性認知症」 A4 三折り版冊子 (京都府・京都地域包括ケア推進機構作成)
	「知ってください！“認知症”という病気のことを」 A5 版冊子、サポーター養成講座の案内 (丹後地域オレンジロードつなげ隊作成)		「こんなことありませんか？それは、若年性認知症かもしれません」 A5 版冊子 8 ページ (京都府・京都地域包括ケア推進機構作成)
	「認知症の方を地域で見守るために」 A5 版冊子、サポーター養成講座用 (各市町へ配布済) (丹後地域オレンジロードつなげ隊作成)		「ひとりで悩んでいませんか？」 (認知症コールセンター、若年性認知症コールセンター) A4 版両面 (京都府・京都地域包括ケア推進機構作成)
	「自分らしく、認知症とともに」 A5 版冊子 29 ページ (京都府作成マンガ) (京都府・京都地域包括ケア推進機構作成)		「成年後見制度のごあんない」 A4 版冊子 (京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター作成)
	「徘徊 SOS ネットワーク」 A5 版冊子、事前登録案内 (丹後保健所作成)		「もしかして認知症？と思ったら」 カードサイズ、紙製卓上ケースあり (京都府・京都地域包括ケア推進機構作成)

＜グッズ等＞

	オレンジ蛍光ペン ※学生向けサポーター養成講座で「認知症の方を地域で見守るために」と同時配布してください。 (各市町へ配布済) (丹後地域オレンジロードつなげ隊作成)		ボールペン (インク：黒色) (丹後保健所作成)
	クリアフォルダー A4 サイズ (丹後保健所作成)		反射材つきマスク (丹後保健所作成) ※在庫少
			個包装マスク (メッセージシール貼付) (丹後保健所作成)
	挨拶用ハンカチタオル (メッセージカード付き) ※色の指定はできません。 (丹後保健所作成)		キーホルダー型リフレクター (反射材 60×60mm) ※色の指定はできません。 (丹後保健所作成)
	マグネットバー (メッセージシール貼付可) ※色の指定はできません。 (丹後保健所作成)		啓発物品配布用ビニール袋 (幅 200×高さ 300mm) ※つなげ隊シールは枚数分、添付します。
			つなげ隊風船 (ハート型) (京都府作成)

※「挨拶用ハンカチタオル」「マグネットバー」にはメッセージカードを付けられますので、文面等についてはご相談ください。

※在庫状況によっては要望に添えない場合もありますが、ご了承ください。

風船と袋以外のグッズは、いずれか一種類でお願いします。